

令和2年6月30日

平成31年度 学校関係者評価報告書

学校法人 栗原学園
北見情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人栗原学園の学校関係者評価に関する規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施しました。下記にその内容を公表いたします。今後も各評価委員からのご意見を真摯に受け止め、より良い教育を目指し学校教職員一同努力して参ります。

1. 開催日時 令和2年6月11日（金）18：00～
2. 場 所 北見情報ビジネス専門学校 4F 402教室
3. 出席者 規程の委員および学校職員
4. 次 第
 - (1) 開会
 - (2) 校長挨拶
 - (3) 学校関係者評価委員紹介
 - (4) 協議事項
 - ①学校関係者評価委員会趣旨説明
 - ②学校関係者評価 教職員自己点検による報告
 - ③意見聴取
 - (5) 閉会

学校法人栗原学園 学校関係者評価委員会は平成31年度自己点検・自己評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下のとおり報告いたします。

1. 学校関係者評価委員会

選出区分	氏名	任期	期数	就任時の職名等
卒業生	坂井 浩	31.4.1～ 2.3.31	2	株式会社坂井印刷 代表取締役社長
卒業生	近藤 千鶴	31.4.1～ 2.3.31	1	株式会社ベストミント 代表取締役社長
卒業生	五十嵐信也	31.4.1～ 2.3.31	1	株式会社日本旅行北海道 北見支店長
卒業生	柴田 喜史	31.4.1～ 2.3.31	1	道東の森総合病院 事務部 課長
卒業生	野田 貴浩	31.4.1～ 2.3.31	1	株式会社タカノ商事
学校関係者	小林 正佳	31.4.1～ 2.3.31	1	北見情報ビジネス専門学校 父母協力会会長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項 目	評 価
	北見情報ビジネス専門学校
基準Ⅰ 教育理念・目標等	<p>・教職員研修会等で各科の話し合いを持ちニーズを考える機会を設定している。このことに関しては、教職員研修会は年2回学園全体で行なっている</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
基準Ⅱ 学校運営	<p>5) 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。このことに関して、情報公開とは就学支援制度の認定校の認定を受けるための要件である</p> <p>・各校・各役職者等の職域が明確に分かれておらず、指示系統が統一されていない部分が多いと感じるため。このことに関しては、学園内でも校舎が別のため、全職員に情報が行き渡らない場合があることが課題である</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
基準Ⅲ 教育活動	<p>・研修計画を立て各学科（コースを含む）における専門的知識のセミナーまたは講座に参加している</p> <p><平成31年度></p> <p>総合事務科（経理事務コース） 札幌商工会議所主催 「渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く」講演会</p> <p>総合事務科（医療秘書コース） 北海道病院協会主催 「健康経営セミナー」</p> <p>このことに関し、総合事務科両コースの外部研修は新型コロナウイルスの感染拡大により中止。</p> <p>・連合自治会を主に円滑な運営が行われている。このことに関し、連合自治会とは情専・福専合同の学生による自治会のことである</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人、指導体制を懸命に考えているが講師との連携が課題。このことに関し、講師との連携において、今年度より講師日報を作成し対策を講じている。 ・教育課程編成委員会に関連分野の企業・団体からの委員を迎え、カリキュラムの評価や見直しを行い、改善が定期的に行われている。このことに関しては、今年度より教育課程の見直しを行い、以下の新たな取り組みを行っている。 総合事務は登録販売者試験取得を対象とした授業の取り入れ。 情報通信はIoT分野のカリキュラムの取り入れ。 ホテル観光ビジネス学科はフィールドワーク（北見市と連携）を行っている。 ・評価基準も明確である。このことに関しては、成績のみで評価し、内申点は考慮していない。保護者へ成績を郵送している ・委員会より 特に意見無し
<p>基準IV 教育成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業した後の学生との連絡には限界があり、すべてを把握はしていないため。このことに関して、卒業生はシステム化されていないことが今後の課題である。 ・委員会より 特に意見無し

<p>基準Ⅴ 学生支援</p>	<p>平成31年度 高等教育の修学支援制度認定校となる。このことに関して、高等教育の修学支援制度認定校は経済的運営が適切か、実務経験のある教員のカリキュラム数が適切か等の要件を満たすと認定される。</p> <p>・委員会や実習先等より都度指摘や指導を頂き、リアルタイムでの現場の声からニーズを引き出し、教育環境の整備にあたっている。今年度においてはパソコンとソフトの新調をおこなった事から適切と判断。（パソコンについてはコンピュータ教室全45台を入替。時代に合わせて動画制作をストレスなく行えるスペックのものを採用）このことに関し、ハイスペックPCは北見市より動画作成依頼があり、対応できるよう導入。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準Ⅵ 教育環境</p>	<p>・PC室の椅子等長期間使用しており老朽化している箇所もある事からほぼ適切と判断。このことに関し、PC室椅子入れ替え済みである。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準Ⅶ 学生の募集と受入</p>	<p>・教育成果を正確に伝えることが、学生募集にマイナスになると感じれば伝えてはいたため。このことに関しては、就職後すぐ辞めてしまうということが多かったため。今年度より高校訪問を担当制にし、同じ教員が訪問するようにしている。マイナスになるかどうかではなく情報を正確に伝えるように方針変更している。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準Ⅷ 財務</p>	<p>・流動比率 178.9% 固定長期適合率 76.9% 自己資本比率 93.3%である事から安定していると考えます。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>

<p>基準IX 法令等の遵守</p>	<p>個々の管理のため。このことに関しては、各担任で管理しているものがあるのでデータ化して保管する必要がある。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>
<p>基準X 社会貢献</p>	<p>・社会・地域貢献では学園として市のイベントに参加している事や、地元中学校生のインターンシップの受入れで貢献できていると考える。施設活用では試験会場として外部受入れ等を行っているため。</p> <p>・委員会より 特に意見無し</p>

3. 学校関係者評価 全体的な総括について

<p>自己点検・自己評価報告書を見ての全体的な意見</p>	<p>各評価が平均点以上で表されるということは、学校運営は高い水準で維持されている。</p> <p>退学率について、単純に数字を下げるのであれば入学時に振り分けることが可能だろうが、数字だけを見ず、間口を広くすることでどのような学生生徒も分け隔てなく受け入れを行うのが栗原学園である。</p> <p>今後も、学生アンケート、学校職員自己点検・自己評価など、学校全体で評価を行い、委員が総体的に評価することでより良い学校運営になるだろう。</p>
-------------------------------	--